

保証書

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください

品名：スリーユニット
製品型番：YT5277
保証期間：お買い上げ日より1年間

お買い上げ日：

お客様ご住所：
お名前：
電話番号：

販売店住所：
店名：
電話番号：

販売店様へ
ご販売時に貴店にて、保証書の所定事項（お買い上げ日、貴店住所、貴店名など）をご記入の上、当製品をご購入いただいたお客様にお渡しください。

よくくにさんぎょう

輸入・発売元：株式会社 芳国産業
電話番号：03-3843-7841（お客様相談室係）
郵便番号：111-0043
住所：東京都台東区駒形2-4-11

（受付時間：土・日・祝日・長期休暇期間を除く、平日午前10時～午後5時まで）

この商品に関するお問い合わせをいただく際は、商品名（スリーユニット）もしくは製品型番（YT5277）をお申し出いただくと、より円滑にご相談いただけます。

アフターサービス

- ▼取扱説明書内の『故障かな？と思ったら（裏面）』を確認しても直らない場合はお求めの販売店、もしくは弊社「お客様相談室係」までご相談ください。
- ▼保証期間中は保証書の無料保証規定に従って、無料修理いたします。当製品に保証書を添えてお求めの販売店もしくは、弊社「お客様相談室係」へお申し付けください。
- ▼保証期間経過後はお求めの販売店もしくは、弊社「お客様相談室係」で有料修理を承ります。
- ▼外装部品やその他の付属品についての修理、製品交換などには類似の代替品を使用する場合があります。

無料保証規定

- 本書は、本書記載内容で、無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
- 取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、当製品と本書をご用意の上、お求めの販売店へご持参いただくか弊社「お客様相談室係」へご相談ください。
 - ご転居、ご贈答品などで、お求めの販売店に修理依頼出来ない場合には、弊社「お客様相談室係」へご相談ください。
 - 保証期間内でも、次のような場合には、有料修理となります。
 - ご使用上の誤りや不当な修理、改造による故障や損傷。
 - お買い上げ後の転倒や落下、輸送等による故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他の天変地変、公害や異常電圧、指定外の使用電源などによる故障や損傷。
 - 一般家庭以外（例えば業務用などの長時間使用など）でのご使用による故障や損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお客様名、お買い上げ年月日、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ご使用上のキズ、変色、汚れなど。
 - 取扱説明書内の『当製品の使用場所について』に記載されているような場所でご使用されたり、保管をした場合。
- ※ 運賃、諸掛費用は基本的にお客様にご負担いただきます。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This Warranty is valid only in Japan.
 - この保証書は本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものです。この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 - お客様にご記入いただいた保証書個人情報、修理・サービスに利用させていただく場合がございます。
 - お買い上げ後、1年を超えてご使用されない製品をはじめにご使用される際に、万が一不具合があった場合は有料修理となります。

デジタルアラーム電波時計 スリーユニット

by Landex

商品名

取扱説明書（保証書付）



この度は当製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用いただきますよう、お願い申し上げます。なお、読み終わったあともお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

▼この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁止します。
▼当製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

製品仕様

商品名：スリーユニット
製品型番：YT5277
使用環境温度：+5°C ~ +40°C
本体サイズ：139(幅)×123(高さ)×34(奥行)mm
時間精度（常温中）：±1秒/月(標準時刻電波の受信に成功した直後) ±30秒/月(標準時刻電波を受信していない場合)
温度計精度：±2°C(0°C以上、+40°C以下の場合)、±4°C(0°C未満、+40°C超の場合)
温度計表示範囲：-10°C~+50°C(-10°C未満は“LLL”、+50°C超は“HHH”と表示)。温度計表示範囲と当製品の使用環境温度は異なります
湿度計精度：±6%(30%以上、80%以下)、±8%(30%未満、80%超)
湿度計表示範囲：20%~99%(20%未満は“LL”、99%超は“HH”と表示。温度計の表示が“HH”もしくは“LL”と表示されている場合は、湿度計の表示は“--”となります)
1回あたりの受信時間：約3分~10分(標準時刻電波の受信状況により異なります)

自動受信：1日4回(午前2時03分、午前3時03分、午前4時03分、午前5時03分)。ただし自動受信設定時刻が早い機会に成功した場合、同日中の自動受信は設定時刻になっても行われません。

使用乾電池：単4型乾電池2本(アルカリ乾電池推奨)
電池寿命：約10ヶ月(アルカリ電池でのご使用いただいた場合。標準時刻電波の受信状況、ご使用状況などにより前後いたします)
付属品：単4型乾電池2本(お試用)、取扱説明書(保証書付) ⇒ 本書

主な機能：・オートカレンダー(2016年1月1日~2019年12月31日)
・温度表示、湿度表示、標準時刻電波受信、アラーム(電子音)、スヌーズ、バックライト(LED)

生産国：中国

▼製品仕様は改良のため、予告無く変更する場合があります。
▼印刷による制限のため、この取扱説明書の図が実際の製品と異なる場合があります。

IM No.YT5277

電波時計について

電波時計とは、正確な「日本標準時」をのせた標準時刻電波を受信して正確な時刻を表示する時計です。標準時刻電波は国立研究開発法人情報通信研究機構が管理・運営しており、福島県「おたかどや山-40kHz」と福岡県・佐賀県の県境「はがね山-60kHz」の2か所から送信されています。条件の良い時は送信所から1,200km離れた距離でも受信可能とされ、ほぼ日本全国をカバーしています。ただし、受信範囲内であっても天候・置き場所・時計の向き・地形・建物・時間帯などの影響で受信出来ない場合がございます。その場合はクォーツ時計としてこの取扱説明書の製品仕様に記載された精度(標準時刻電波を受信していない場合)で作動します。

標準時刻電波、標準時刻電波の送信状況に関する詳しい情報は、以下のホームページをご覧ください。

〈国立研究開発法人情報通信研究機構〉
<http://ijiy.nict.go.jp/>



▼標準時刻電波の送信設備等の管理・維持の都合により、電波の送信が停止することがあります。

▼上記 URL は予告なく変更される場合があります。

電波時計の使用場所について

以下のような場所では、標準時刻電波を受信出来ない場合があります。



●マンションやビルなどの地下



●高圧線、テレビ塔や電車の高架橋の近く



●電化製品やOA機器の近く



●自動車、電車、飛行機などの乗りものの中



●金属製の雨戸やブラインドの近く

- 工事現場、空港、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- 金属製の家具の上など、電波を遮断する所。
- 周囲が山やビルなどに囲まれ、標準時刻電波の入りが悪い所。

標準時刻電波の受信について

標準時刻電波の受信をしない場合

⇒ 電波発信局の方角に近い窓際に当製品を置いて、再度受信をお試しください。

⇒ 電池を一旦取り外して、夜間に電池をセットしなおし、窓際に置いて朝まで様子を見てください(夜間は昼間と比較して、標準時刻電波の受信に成功しやすい傾向があります)。



電池をセットしたら、受信が完了するまで窓際に置いてください。



受信していないか、電池が消耗している可能性があります。電池が消耗している場合は、新しい電池と交換し、窓際で再度受信をお試しください。

※上の写真は使用場所のイメージです。写真中の展示物は付属品ではありません。※当製品を窓際に置く場合、直射日光が当たるなどして高温になる場所での使用はお控えください。また当製品が雨などに濡れないようご注意ください。

安全上のご注意（必ず守ってください）

ここに示す内容は、商品を安全に正しくご使用いただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。ご使用前によくお読みの上、お読みになった後はいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示内容を無視して、誤った使い方により生じる損害や危害の程度を区分する記号

⚠ 警告	人が死亡または重症などを負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	人が傷害を負う可能性や、物的損害が生じる可能性を示しています。

必ずお守りいただく行為（強制）と禁止行為を区分する記号

❗	必ず守らなければいけない行為（強制）を示す記号です。
🚫	絶対にしてはいけない禁止行為を示す記号です。

▼電池について

- ❗ 分解、ショート(短絡)などをしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。また、火中に入れる、強い衝撃を与えるなど、絶対にしてはなりません。
- ❗ 電池からもれた液が目に入った場合は、失明する恐れがありますのですぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受けてください。皮膚や衣類などに付着した場合にはきれいな水で洗い流してください。
- ❗ ・プラス(+)、マイナス(-)の方向を正しく入れてください。
・長時間使用しないときは、電池を必ずはずしてください。液もれにより当製品や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- ❗ 電池に直接ハンダ付けをしたり、水で濡らしたりしないでください。液もれや破損などの恐れがあります。
- ❗ 電池を保管する際は高温・高湿な場所や直射日光が直接あたるところは避けてください。また、使用済みの電池はお住まいの地区自治体の廃棄方法に従って、速やかに廃棄してください。液もれや破損などの恐れがあります。
- ❗ 古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。当製品が故障したり、不安定な動作などをすることがあります。
- ❗ 電池を交換するときは、種類の異なる電池を混ぜないでください。また、電池の交換をするときは、全て新しい電池にしてください。
- ❗ 電池の端子の汚れにより、当製品が使用できない場合があります。その際は乾燥したやわらかい布などで電池の端子を拭いて汚れをとってからご使用ください。

❗ 電池に推奨使用期間が表示されている場合、期間を過ぎた電池のご使用はお控えください。液もれや破損などの原因になります。

❗ 当製品が使用可能でも液もれなどを防ぐために、定期的に電池交換をしてください。

▼誤飲による事故防止について

❗ 電池や部品は幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合はすぐに医師の治療を受けてください。

▼梱包用袋について

❗ 梱包用の袋は絶対にかぶらないでください。また、幼児の手の届く所に置かないでください。

▼分解禁止について

❗ 当製品を分解したり、改造しないでください。故障の原因になります。

▼液晶パネルについて

❗ 液晶パネルが破損した場合、ガラスおよび中の液晶には触れずに十分注意してください。皮膚に付着した場合、付着物をよく拭き取り、水で流し石鹸で洗浄してください。目に入った場合はきれいな水でよく洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。飲み込んだ場合は大量の水を飲んで吐き出し、直ちに医師の診断を受けてください。

当製品の使用場所について

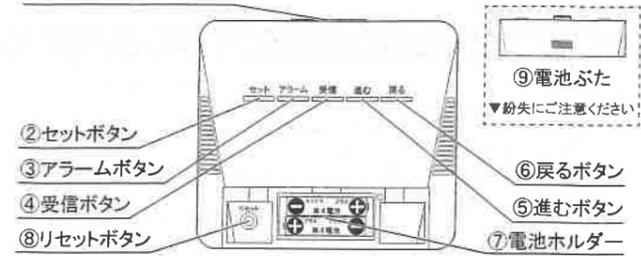
- 下記のような所では使用や保管をしないでください。
- ・温度が+40°Cを超える所。例えば、直射日光や暖房器具の熱風が当たる所、火気に近い所や屋外など。
 - ・温度が+5°Cより下になる所。
 - ・ほこりや塵が多い所。
 - ・湿気が多い所(加湿器の蒸気があたる所など)、水が直接掛かる所(当製品は防水ではありません)。
 - ・強い磁気のある所、激しい振動のある所。
 - ・多くの油を使用する所。
 - ・当製品が倒れたり、落ちたりしそうな不安定な所。
 - ・ビニール系素材の敷物の上や壁など(敷物や壁、当製品が汚れたり、傷んだりすることがあります)。
 - ・幼児の手が届く所。
 - ・防虫剤などのすぐそば。

各部の名称

ご使用前に→当製品の液晶画面上に保護シールが貼ってある場合は、必ずはがしてからご使用ください

■本体表面(「⑨電池ふた」を開けた状態)

①スヌーズ / ライトボタン



⑨電池ふた

▼紛失にご注意ください!

②セットボタン

③アラームボタン

④受信ボタン

⑧リセットボタン

⑥戻るボタン

⑤進むボタン

⑦電池ホルダー

①スヌーズ / ライトボタン
押すとバックライトが点灯します。アラームが鳴っているときに押すとアラームが一旦鳴り止み、約5分後に再びアラームが鳴り出します(スヌーズ機能)。
②セットボタン
長押し(約2秒)をすると、手動で時刻や日付を合わせる状態になります。

③アラームボタン
アラーム“ON”の状態と“OFF”の状態を切替えます。

④受信ボタン
1回押すと「⑭受信マーク」が点滅し、標準時刻電波の受信を開始いたします。「⑭受信マーク」が点滅をしている状態でもう1回押すと、標準時刻電波の受信が取り消され、「⑭受信マーク」が表示されなくなります(時刻や日付、アラーム時刻の設定中は「④受信ボタン」の操作が無効となります)。

⑤進むボタン
アラーム時刻の設定や、手動で時刻や日付を合わせる場合に時刻や日付を進めます。設定中に1回押すと1つ進み、長押し(約2秒)すると連続して進みます。

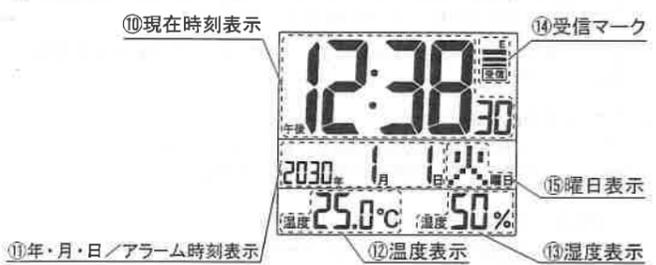
⑥戻るボタン
アラーム時刻の設定や、手動で時刻や日付を合わせる場合に時刻や日付を戻します。設定中に1回押すと1つ戻り、長押し(約2秒)すると連続して戻ります。

⑦電池ホルダー
電池を入れる場所です。電池のプラス(+)、マイナス(-)を確認し、正しい方向に入れてください。

⑧リセットボタン
押すと初期状態に戻ります。押すときは先の細い棒などで押してください。

⑨電池ふた
電池の脱落などを防ぐためのふたです。紛失にご注意ください。

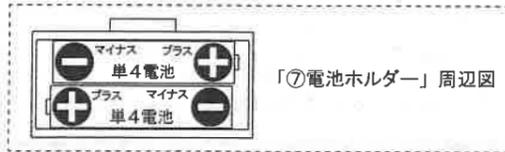
■液晶画面(表示は一例です)



ご使用方法

【1】電池を入れる

単4型乾電池2本を「⑦電池ホルダー」に電池のプラス(+)、マイナス(-)を確認し、正しい方向に入れてください。絶縁シートなどが付いている場合はそれらを取り外してからご使用ください。電池を入れたら、必ず「⑨電池ふた」を開けてください。



- ▼電池交換の際はアルカリ単4乾電池をおすすめいたします。
- ▼付属の電池は工場出荷時に納められたもので、寿命が短くなっている場合があります。
- ▼一部の高性能電池は初期電圧が高いため、当製品の使用に不向きな場合があります。
- ▼電池のプラス(+)、マイナス(-)を間違った方向にし、放置しないでください。当製品の故障、電池の発熱、液もれなどの原因となります。

【2】標準時刻電波の受信をはじめる

「⑧リセットボタン」を押すと全ての表示が点灯(約3秒)した後に「⑩現在時刻表示」が「午前12時00分00秒」となり、標準時刻電波の受信を開始します。受信が終了するまで当製品を動かさず、窓際などの比較的信受しやすい場所に置いてください。



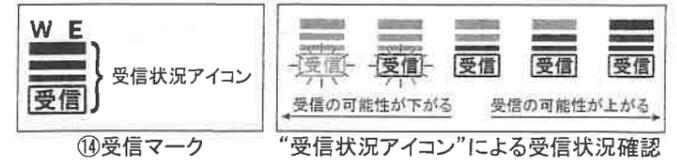
▼標準時刻電波の受信を正しく行うために、この取扱説明書内に記載されている、『電波時計の使用場所について(裏面)』および『標準時刻電波の受信について(裏面)』をご参照ください。

▼受信中は当製品を動かさないでください。受信中に当製品を動かすと、標準時刻電波を正しく受信出来ない場合があります。

▼受信中はボタン操作などをしないでください。ボタン操作などにより、受信精度が低下する場合があります。

【3】標準時刻電波の受信状況を確認する

標準時刻電波の受信中は、「⑭受信マーク」中の“受信状況アイコン”が当製品の受信状況により点灯もしくは消灯し、受信状況をお知らせいたします。受信しやすいと多く点灯するので、受信状況の参考になります。



【4】受信結果

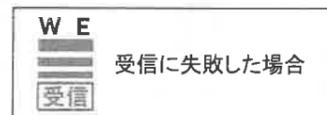
「○ 受信成功」

標準時刻電波の受信に成功すると「⑭受信マーク」が点灯し、正しい時刻と日付が表示されます。



「× 受信失敗」

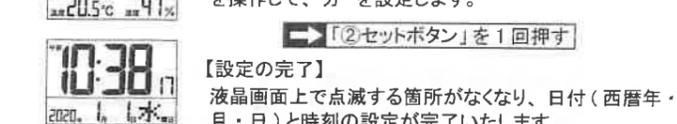
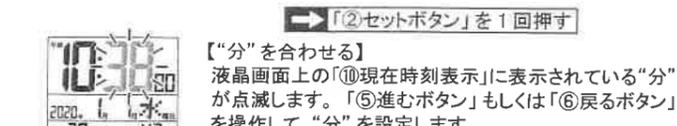
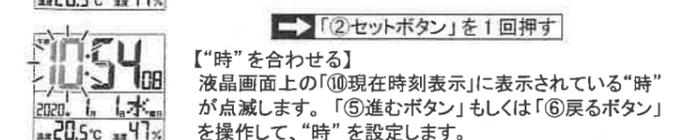
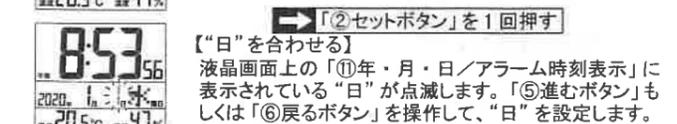
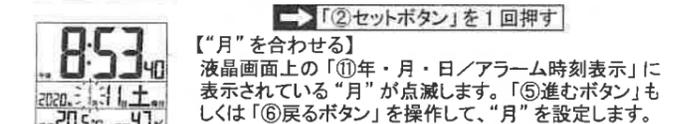
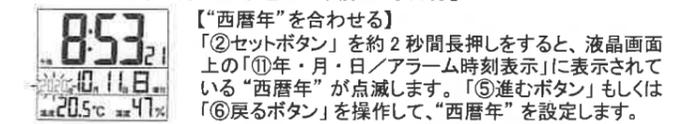
標準時刻電波の受信に失敗すると「⑭受信マーク」が点灯せず、正しい時刻と日付が表示されません。



▼1回の受信に要する時間は約3分から約10分です。この間に受信しない場合は取扱説明書内の「【5】標準時刻電波を受信できなかった場合」をご参照ください。

【5】標準時刻電波を受信できなかった場合

- 任意に受信をさせる
時刻や日付(西暦年・月・日)、アラーム時刻を設定する状態ではない時に「④受信ボタン」を1回押すと、標準時刻電波の受信を開始いたします。▼標準時刻電波の受信中に「④受信ボタン」を1回押すと受信が取り消されます。
- 場所をかえて、再度受信させる
取扱説明書内の「電波時計の使用場所について(裏面)」および「標準時刻電波の受信について(裏面)」を確認し、受信しやすい所に場所をかえて再度受信をお試しください。
- 様子を見る
一昼夜様子を見る(昼間は標準時刻電波の受信を阻害する電波が多く存在する可能性があります。夜間は昼間と比べると、標準時刻電波の受信を阻害する電波が減少し、受信が成功しやすくなる傾向があります)。
- 手動で時刻をあわせる
標準時刻電波を受信できなかった場合、以下の手順で日付(西暦年・月・日)と時刻を合わせてください。このとき日付を正しく合わせると、「⑮曜日表示」は自動的に設定されます(曜日を任意に設定することは出来ません)。
【設定例：2020年1月1日 水曜日 午前10時38分】



▼「⑤進むボタン」を1回押すと、時刻や年・月・日が1つ進み、長押し(約2秒)すると早送り進みます。「⑥戻るボタン」を1回押すと、時刻や年・月・日が1つ戻り、長押し(約2秒)すると早送りで戻ります。

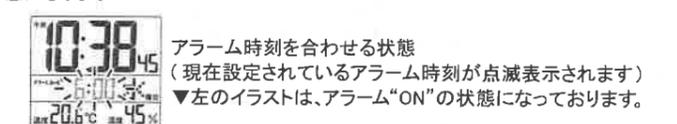
▼手動で時刻などを設定中に約30秒間操作をしないと、設定が中止されます。

▼手動で秒まで正しく合わせるには、“分”を合わせるときに「⑤進むボタン」もしくは「⑥戻るボタン」を押すことで、秒表示をゼロにすることが可能です。時報などを参考にして、タイミング良く操作して“秒”を補正してください。

【6】アラームを鳴らす

1.アラーム時刻を合わせる

手動で時刻や日付を合わせる状態でないときに、「⑤進むボタン」もしくは「⑥戻るボタン」を1回押すと液晶画面の「⑩年・月・日/アラーム時刻表示」部が現在設定されているアラーム時刻を表示(点滅)し、アラーム時刻を合わせる状態になります。



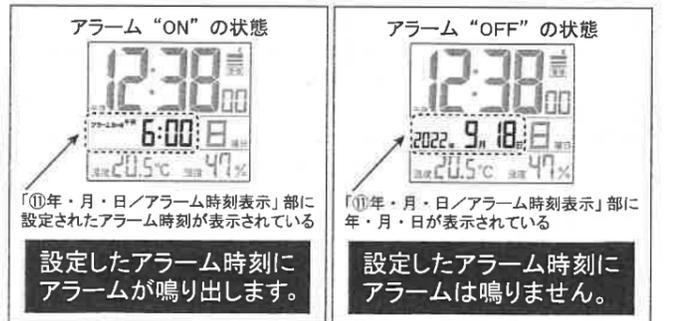
アラーム時刻が点滅中に「⑤進むボタン」を1回押すと、時刻が1分ずつ進み、長押し(約2秒)すると早送りで時刻が戻ります。「⑥戻るボタン」を1回押すと時刻が1分ずつ戻り、長押し(約2秒)すると早送りで時刻が戻ります。

▼アラーム時刻を合わせる状態で、何も操作をしない状態が約5秒続くと、アラーム時刻が確定します。その場合、アラームが“ON”の状態であると液晶画面の「⑩年・月・日/アラーム時刻表示」に設定したアラーム時刻が表示され、設定されたアラーム時刻になるとアラームが鳴り出します。アラームが“OFF”の状態であると、液晶画面の「⑩年・月・日/アラーム時刻表示」に年・月・日が表示され、設定されたアラーム時刻になっても、アラームは鳴りません。

2.「③アラームボタン」を操作してアラーム“ON”の状態にする

液晶画面の「⑩年・月・日/アラーム時刻表示」が年・月・日を表示している状態で、「③アラームボタン」を1回押すと、確認音とともに「⑩年・月・日/アラーム時刻表示」部左側に“アラーム(!!!)”表示が点灯し、設定したアラーム時刻も同時に表示されます。アラーム“ON”の状態では設定したアラーム時刻にアラームが鳴り出します。

▼アラームをご使用になられる場合は、液晶画面「⑩年・月・日/アラーム時刻表示」に設定されたアラーム時刻が表示されていることを必ず確認してください。液晶画面上「⑩年・月・日/アラーム時刻表示」に年・月・日が表示されている状態では、設定したアラーム時刻にアラームは鳴りません。

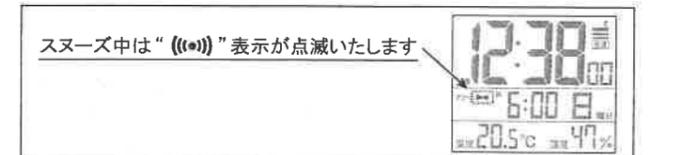


▼アラームは鳴り出してから約2分間無操作の状態が続くと、自動的に鳴り止みます。その場合、アラーム“OFF”の状態(液晶画面「⑩年・月・日/アラーム時刻表示」に年・月・日が表示されている状態)にしないと、翌日の同時刻にアラームが再び鳴り出します。

【7】アラームを止める

1.スヌーズ機能で止める

アラームが鳴っているときに「①スヌーズ / ライトボタン」を1回押すとアラームが一旦鳴り止み、約5分後自動的にアラームが鳴り出します。スヌーズ中は液晶画面「⑩年・月・日/アラーム時刻表示」部の“(!!!)”表示が点滅した状態となります。



▼「スヌーズ」とはアラームを一旦止めても、一定時間おきに再び鳴り出す機能で、二度寝などの防止にご利用いただけます。
▼スヌーズ機能は繰り返し何回でも、ご利用いただけます。
2.「③アラームボタン」を操作して止める
アラームが鳴っているときに「③アラームボタン」を操作し、アラームを“OFF”の状態(液晶画面「⑩年・月・日/アラーム時刻表示」部が年・月・日を表示する状態)にすることで、アラームが鳴り止みます。
▼アラームが鳴っているときに「②セットボタン」、「④受信ボタン」、「⑤進むボタン」、「⑥戻るボタン」のいずれかを押すとアラームは鳴り止みますが、その場合アラームが“ON”の状態になっておりますので、ご注意ください。

その他の機能

- ライト
「①スヌーズ / ライトボタン」を押すと約5秒間液晶画面のライトが点灯します。
- 温度・湿度表示
当製品の周辺温度・湿度を当製品内部のセンサーで測定し、表示をします。はじめて電池を入れたときや、当製品を温度・湿度変化が大きい環境に移したときなどは周辺温度・湿度を測定するのに時間がかかる場合があります。
▼当製品は業務用ではありませんので、厳密な温度・湿度管理が必要とされるような目的でのご使用は絶対にしないでください。
▼当製品は室内用です。屋外での使用(ビニールハウスなどを含む)は絶対にしないでください。
- 電池交換おすすめ機能
当製品をご使用いただいている際に「⑭受信マーク」の下に「⑯電池交換おすすめ表示」が表示された場合、すみやかに電池を交換してください。



▼電圧の低い電池を使用し続けると、当製品の正常な使用に支障をきたす場合があります。
▼電池を交換するときは、種類の異なる電池を混ぜないでください。また、電池の交換をするときは、全て新しい電池にしてください。

お手入れのしかた

ケースなどを拭くときはシンナー・ベンジン・スプレー式クリーナーなどは使用しないでください。汚れがひどいときは石鹸水または水で薄めた中性洗剤をやわらかい布に浸してよく絞ってから拭き、乾いたあとに乾燥した布で拭いてください。また殺虫剤、防虫剤やヘアスプレーなどもかからないようにしてください。

故障かな?と思ったら

- ▼(症状) 標準時刻電波の受信しない (対処) 標準時刻電波を受信しにくい環境下にあることが予想されます。取扱説明書内の『電波時計の使用場所について(裏面)』および『標準時刻電波の受信について(裏面)』をご確認いただき、受信しやすい環境で、再度お試しください
- ▼(症状) 液晶画面が薄くなってきた (対処) 電池の消耗が考えられますので、新しい電池に交換してください。
- ▼(症状) 液晶画面が乱れたり時計が止まる (対処) 静電気による誤動作が考えられます。「⑧リセットボタン」を押して様子を見てください。
- ▼(症状) 使用中に時間がずれてきた (対処) 自動受信による定期的な受信に失敗している可能性があります。場所を変えて受信してください。
- ▼(症状) アラームが鳴らない (対処) アラームが“ON”の状態(液晶画面上「⑩年・月・日/アラーム時刻表示」に設定されているアラーム時刻が表示された状態)で、設定されているアラーム時刻にアラームが鳴るかを確認してください。電池の消耗が考えられる場合は、新しい電池と交換してください。
- ▼(症状) ライトが暗くなった (対処) 電池の消耗が考えられますので、新しい電池に交換してください。
- ▼(症状) ライトを点灯すると、液晶画面の表示が薄くなる (対処) 電池の消耗が考えられますので、新しい電池に交換してください。
- ▼(症状) 温度・湿度の表示が異常と思われる (対処) 温度・湿度変化の大きい環境に当製品を移したときなどは、周辺温度・湿度を測定するのに時間がかかる場合があります。電池の消耗が考えられる場合は、新しい電池と交換してください。

当製品、電池、梱包材などの廃棄

▼お住まいの地区自治体の廃棄方法に従ってください。
▼当製品、電池、梱包材などは分別して廃棄してください。